

2020 年度ゼミ (3003 演習 2A/3004 演習 2B) 要覧

担当者名	久保田 浩
演習テーマ	ポスト近代社会において「宗教」を「読む」
校外実習	2020 年 9 月初旬 (14 日間)
メール・アドレス	frhkubot@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	予めメールにて連絡してください
2021 年度に開講 しない可能性 (在外研究・特別研究)	なし
授業概要	多文化共生社会を目指していくための前提として、現代社会の実態を把握する能力が必要とされるが、その中には「宗教」に関する情報を的確に「読む」能力も含まれる。本演習では、特定の宗教事象（出来事、事件、団体や個人の活動等）を選び、調査と分析を進める。「演習 1」では「文化」化した「宗教」をテーマとしたが、「演習 2」では、春学期に「社会問題」化した事象を、秋学期に「社会貢献」に関する事象を扱う。具体的には、①社会における「宗教」の批判的な「読み方」に関する英文テキストを講読し、社会的・文化的現象としての「宗教」を分析する際の理論的・方法論的問題点について検討する。②問いを提起し、調査トピックを見つけ出し、調査・分析を進める。①②とも、グループ単位で、講読テキストの内容の検討と発表、調査・分析ならびにその経過と成果の報告を行う。
学習目標	「宗教」を社会的・文化的現象として取り扱う視座と具体的方法、ならびに「宗教」を巡る諸問題についての情報の処理の仕方を身につけ、社会における「宗教」の役割・機能・意義・可能性・限界等を分析し理解するための批判的能力を獲得する。
授業計画	<p>〈春学期〉</p> <p>1 ガイダンス、導入講義（宗教による社会批判と社会による宗教批判）</p> <p>2～5 理論・方法論に関するテキスト講読</p> <p>6 研究テーマと調査トピックの紹介</p> <p>7～10 中間報告</p> <p>11～14 最終発表</p> <p>15 総括討論</p> <p>〈秋学期〉</p> <p>1 ガイダンス、導入講義（公共圏における宗教の可能性と限界）</p> <p>2～5 理論・方法論に関するテキスト講読</p> <p>6 研究テーマと調査トピックの紹介</p> <p>7～10 中間報告</p> <p>11～14 最終報告</p> <p>15 総括討論</p>
予習	トピックの調査、テキストの精読、レジュメの作成等発表の準備（基本的にグループワーク）
復習	発表の振り返り、次回の発表に向けての継続調査

授業に関する注意事項	
教科書	特に定めない
参考書	(春学期) 櫻井義秀『「カルト」を問い直す』(2006年)、(夏学期) 白波瀬達也『宗教の社会貢献を問い直す』(2015年)。その他授業時に紹介する。
成績評価の基準	議論への参加度(30%、コメントシートを含む)、複数の発表(40%、講読担当回発表、研究発表)、ミニ卒論(30%)。
関連 URL	
備考	